

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解

科目コード：120105

人間病態学Ⅱ（感染） Human Pathology Ⅱ

担当教員	今井 美和				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	微生物、感染、予防、細菌、ウイルス、真菌、原虫				
学習目的・目標	目的：感染症は日常頻繁に遭遇する疾患である。感染症を引き起こす微生物の中には、ヒトのがん発生と密接に関連しているものもある。また、医療技術の高度化、化学療法剤の使用により易感染性宿主の増加、耐性菌の出現が問題となっている。そこで、病原微生物や感染症の基礎的事項を学ぶ。 目標：微生物学的専門用語を用いて、感染症の病態を説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-4	(1) オリエンテーション (2) 微生物学総論：生物の分類、細胞内・細胞外寄生体、歴史、感染、感染症、伝染病、感染源、感染経路、宿主、宿主-寄生体関係、常在微生物叢、媒介動物、日和見感染、菌交代症、人畜共通感染症、新興・再興感染症、食中毒、性感染症、輸入感染症、感染症法、予防接種、院内感染、滅菌・消毒、化学療法				
5-9	(3) 細菌：形態、分類、病原因子、化学的組成、増殖、主な細菌（グラム陽性菌、陰性菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア）と感染症				
10-13	(4) ウイルス：形態、分類、増殖、感染経路、主なDNA・RNAウイルスと感染症、プリオン、プリオン病				
14	(5) 真菌：形態、分類、増殖、主な真菌と真菌症				
15	(6) 原虫：形態、分類、増殖、主な原虫と原虫症				
16	定期試験				
教科書	プリント配布 ビジュアル微生物学（ヌーヴェルヒロカワ）				
参考図書等	カラーで学べる病理学（ヌーヴェルヒロカワ） ルービン カラー基本病理学（西村書店）				
評価指標	・定期試験の受験資格：履修登録をしている + 授業回数の2/3以上出席している ・定期試験の結果 100%で評価する。				
関連科目	人間病態学Ⅰ・Ⅲ、疾病・障害論Ⅱ・Ⅳ、臨床薬理学、公衆衛生学				
教員から学生へのメッセージ	講義の復習を行い、確実に知識を身につけて下さい。				